

ミュージアム ESD学習会

～実践の評価と充実に向けて～

Active Friday♪

2024年度プログラム 時間 13:30～15:30

回	月日	テーマ
1	8/23	ミュージアムを拠点とした協働の可能性
2	9/20	環境教育プログラムの評価入門
3	10/18	対話を通じたファシリテーション
4	11/15	ミュージアムとESD
5	12/6	ふれあいプログラムにおける動物の福祉評価はなぜ必要か
6	1/24	ロジックモデルを使ってプログラムのロードマップを作ってみよう
7	2/14	ESDの学びの評価～ルーブリックを作ってみよう～
8	3/14	ESD実践例の交換会

※日程やタイトルが変更する場合があります

主催 一般社団法人ミュージアムESDコミュニティ



ミュージアムを学び合いのプラットフォームに

<https://museec31.wixstudio.io/museec>



対象

ミュージアム職員
教育関係者

参加費

第1回 無料
第2回～8回 各2000円
第6回 +入園料 500円

定員

第1、2、3、4、5、7、8回
各50名
第6回のみ 30名

場所

第1、2、3、4、5、7、8回
オンライン(ZOOM)
第6回のみ 地方独立行政法人
天王寺動物園

後援

公益社団法人
日本動物園水族館協会
特定非営利活動法人
西日本自然史系博物館
ネットワーク

協力

地方独立行政法人
天王寺動物園

助成

特定非営利活動法人
西日本自然史系博物館ネット
ワーク日比自然史基金

話題提供者

8/23

【ミュージアムを拠点とした協働の可能性】



高田 浩二

海と博物館研究所 所長

『博物館と地域連携教育』



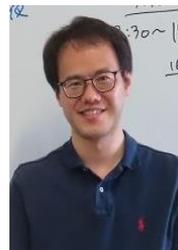
安宅 範子

カフェ淡路いきものラボ オーナー

『動物園での教育連携の企画と実践』

9/20

1/24



桜井 良

立命館大学政策科学部 准教授

『環境教育プログラムの評価入門』
『ロジックモデルを使ってプログラムのロードマップを作ってみよう』

10/18

2/14



松本 朱実

社会構想大学院大学 特任教授

『対話を通じたファシリテーション』
『ESDの学びの評価～ルーブリックを作ってみよう』

11/15



林 浩二

千葉県立中央博物館 共同研究員

『ミュージアムとESD』

12/6



並木 美砂子

帝京科学大学 特任教授

『ふれあいプログラムにおける動物の福祉評価はなぜ必要か』

学習会の趣旨

- **ミュージアム**(博物館、動物園、水族館、美術館、図書館などあらゆる機関や地域など)を拠点に、**ESD**(持続可能性に向けた環境教育)を推進する力を身に付ける
- **学び合いのネットワーク**を構築する
- **実践をふりかえり**、新たな視点や考えを取り入れて、**活用**していく

学習会の進め方

対話を通じた学び合い
問題解決の展開
教材を用いた演習



申込方法

各回実施3週間前頃より参加者を募集します。

(一社)ミュージアムESDコミュニティ(MUSEEC)のサイトをご確認ください。

第1回(8/23)

申し込みフォーム

期日8月22日

参加無料



<https://museeclearning240.org.jp/learn.com>